

コード	501040705
記入日	H24.11.21

## 新規事業評価表【事前評価】

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松東小学校フェンス設置事業
----------	----------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10	
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2	
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1	
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966	
関連計画					法令・条例規則等	

### 計画 ( PLAN )

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 若松東小学校 (対象2)	(対象指標1) 1校、64人□(H24.5.1現在) (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・若松東小学校は敷地の周りに塀が設けられていない。そこで、学校敷地の周囲にフェンスを設置することによって、児童が安全安心な教育を受けるための環境整備を図る。 →フェンス設置工事 L=116m H=180cm、L=10m H=300cm	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① フェンス設置工事 1.0式 L=126m H=180cm H=300cm 平成25年度 ②
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・若松東小学校は、敷地の周りに塀が設けられていないことから、近年、イノシシが学校敷地内に出没し、校庭や花壇をはじめ、被害が続出している。そこで、人的被害も懸念されていることから、児童に危害が及ばないように、学校敷地の周囲にフェンスを設置することによって、児童が安全安心な教育を受けるための環境整備を図るものである。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 工事進捗率 100% 実施事業費÷計画事業費 平成25年度 ②

### 実施 ( DO )

	単位	全体計画								
		H 25 ~ H -	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
活動指標	① 式	1.0		1.0						
	②									
成果指標	① %	100		100						
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	2,600		2,600						
直接事業費 A	千円	1,900		1,900						
人件費 B	千円	700		700						
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	2,600		2,600						

**評価 ( CHECK )**

評価項目		内 容
<b>1 次 評 価</b>	・事業の緊急性・必要性はありますか。	若松東小学校は、敷地の周りに塀が設けられていないことから、イノシシが学校敷地内に出没し、校庭や花壇をはじめ、被害が続出している。そこで、人的被害も懸念されていることから、早急な対策が求められており、学校敷地の周囲にフェンスを設置する必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	事業対象は、若松東小学校の児童であり、それら児童の安全を確保する意味から適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	生徒のための安心・安全な学校づくりの推進による教育環境の充実は、町の責務であり必要である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	事業を実施しないことは、児童を危険にさらすことに繋がり、安心・安全な学校づくりの推進に反することになる。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	合理的経費であり、児童の安全を守るためには必須の事業であることから、その費用対効果は大きい。
	・受益者負担は適正ですか。	受益者負担はない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

<b>2次評価</b>	町内の幼稚園・小中学校全体の状況から考えると、イノシシの学校敷地への進入は当該学校だけでなく、どこかの学校でも考えられることであり、若松東小学校のみの事業実施の理由が難しいものである。教育委員会として方針・基準なりを示して、公平性の観点にたち検討する必要がある。但し、民有地との境界にあったフェンスが壊れているのであれば、その部分のみを実施すること。
-------------	---

<b>3次評価 住民等の意見</b>	
<b>町の対応</b>	

<b>事業の方向性</b>	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する		●		当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。